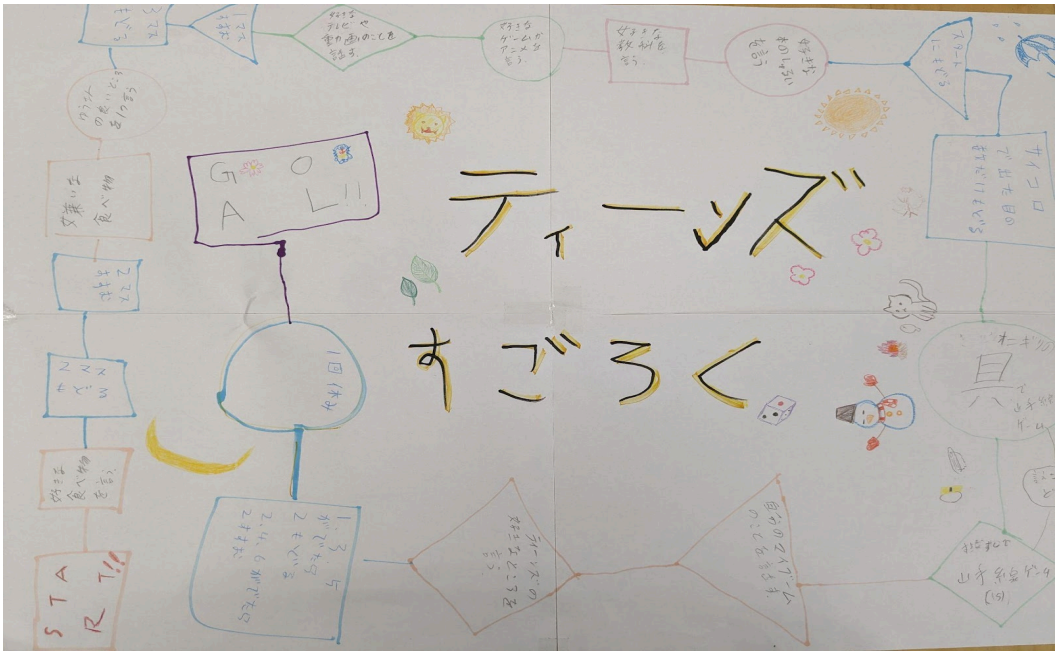
人生辛い時でもなんとかなる



暗黒期(中学校時代)

中学校に入り、小学校との環境の違いを感じました。

クラスも小学校と違うのでなんとなく居づらさを感じました。生活習慣も崩れ、感情が不安定になりました。友達と喧嘩をして不登校になり、とても悲しかったと記憶しています。

その後、色々なデイサービスを回りました。それぞれ、良い環境でしたが、どこか違う印象を受け、結局決まらないまま時間が過ぎていきました。その時はとても焦っていて自分が決められた時間に行けるのか、居る人たちと馴染めるのかなど不安でいっぱいでしたティーンズの体験に行き、ここなら自分でも通えるかもしれないと思いました。

ティーンズに入って生活習慣も治り、友達もたくさんできました。

再出発期(高校時代)

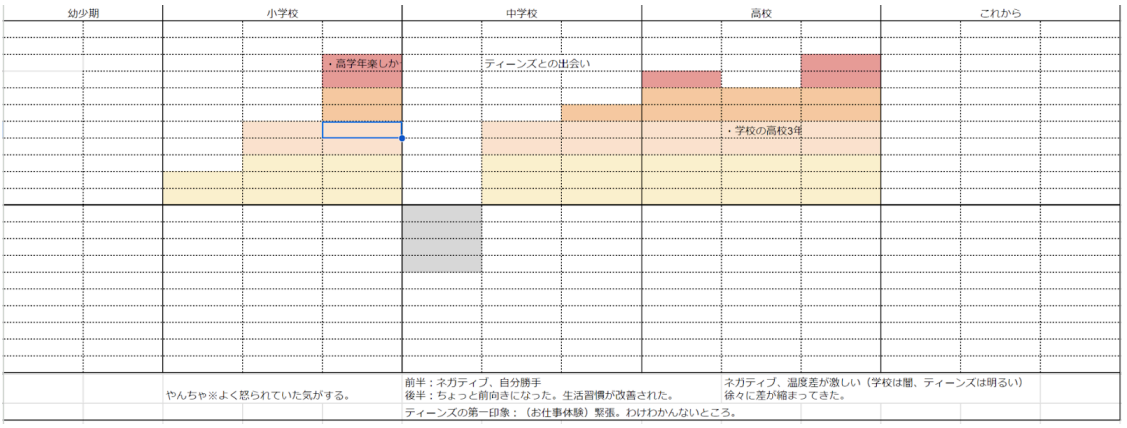
高校の入試に受かり入ることが決まった後も不安は残りましたが、先生や先輩たちから話しかけてもらい次第に馴染めることができました。

二年生の時に進路を決めるために理学療法士のオープンキャンパスに行きましたが、あまり先生と合わず、良い思い出にはなりませんでした。そんな時に親から勧められた歯科の学校と出会いました。オープンキャンパスの雰囲気も悪くなく、行く学校もすぐに決まりました。その後、面接の練習を学校やティーンズの方々に手伝ってもらいました。

面接は怖かったですが、練習のおかげで緊張せずに望むことができ、無事合格することができました。

まとめ

ティーンズに入って辛いこともあったけれど、スタッフの皆様に支えられ、人と接する大切さと楽しさを知りました。これからも学んだことを活かして、頑張っていきます。



・卒業後の進路⇒専門学校
・ティーンズの利用 ⇒ 中学1年生～高校3年生
・公立小学校 ⇒ 公立中学校（不登校）⇒ サポート高校（通学）
・利用頻度 ⇒ 平日3日＋お仕事体験
・ティーンズでの過ごし方 ⇒ 学習、同年代のお子さんとカードゲーム、スタッフとの面談
・長所 ⇒ 困っている人への気遣いができる
・過去の自分に一言：辛い時でもなんとかなる！